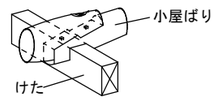
特記仕様書　（木工事）　軸組工法

部　位	
小屋梁	材　種 はり（丸太）　□ あかまつ　□ くろまつ　□ べいまつ　□ その他（　　） はり（その他）　□ あかまつ　□ くろまつ　■ べいまつ　□ からまつ　□ その他（ 構造用集成材 ） 工　法 1，末口135mm以上の丸太の継手は、受材上で台持継ぎとし、下木に太柄2本を植え込み、 2，六角ボルト(M12)2本締めとする。受け材当たりは渡りあごとし、手違いかすがい打ちとする。 3，末口135mm以下の丸太の継手は、受け材上でやりちがいとし、六角ボルト(M12)2本締めとする。 4，受け材当たりは渡りあごとし、手違いかすがい打ちとする。 5，軒桁又は敷桁との仕口は、かぶと蟻掛け又は渡りあごとし、羽子板ボルト締めとする。
小屋束	材　種 □ すぎ　□ あかまつ　□ くろまつ　■ べいまつ　□ からまつ　□ べいつが　□ その他（　　） 工　法 上部・下部の仕口は、短柄差しとし、かすがい両面打ちとする。
棟木・母屋	材　種 □ すぎ　□ あかまつ　□ くろまつ　■ べいまつ　□ からまつ　□ べいつが　□ その他（　　） 工　法 垂木当たりの欠き込みを考慮して適切な断面寸法とし、継手は束の位置を避け、持ち出し 腰掛け鎌継ぎとする。
桁行すじかい・振れ止め	材　種 ■ すぎ　□ あかまつ　□ くろまつ　□ べいまつ　□ からまつ　□ べいつが　□ その他（　　） 工　法 束に添えつけ、N50釘2本打ちとする。 振れ止めの断面寸法は貫程度とする。
垂　木	材　種 □ すぎ　□ひのき(化粧)　□ あかまつ　□ くろまつ　□ べいまつ　□ からまつ　■ つが　□ その他（　　） 工　法 1，継手は乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、釘2本打ちとする。軒先部以外の留め付けは、 2，受け材当たりN75釘で両面を斜め打ちとする。ただし、垂木のせいが45mm程度の場合は、N100釘を脳天打ちとすることができる。 3，軒先部の留め付けは、桁へひねり金物(ST)、折曲げ金物(SF)、又はくら金物(SS)を当て釘打ちとする。 4，瓦棒葺き屋根の場合の垂木間隔は、瓦棒の留め付け幅と同一とする。

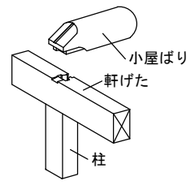
継手及び仕口の参考例

小屋ばりの継手
（台持継ぎ）

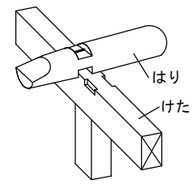


小屋ばりと軒げたとの仕口

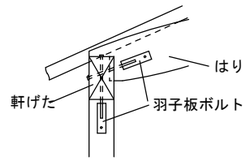
（かぶとあり）

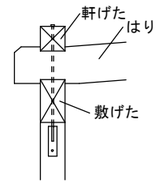


（渡たりあご）

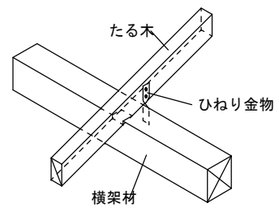


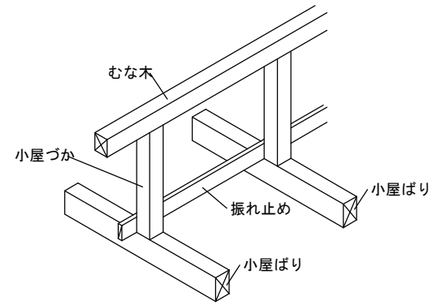
（注）羽子板ボルトについては、施工性を考えて、軒げたとはり、軒げたと柱を一定間隔ごとに交互に緊結する。



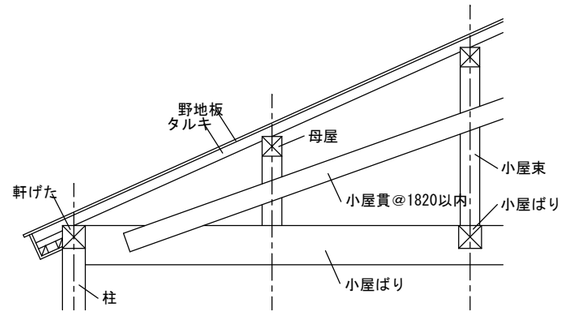


たる木とひねり金物の施工例





振れ止めの断面寸法は貫程度とする。



工事名	株式会社はが建築社芳賀建築設計事務所 一級建築士事務所　埼玉県知事登録(10)第564号	管理者 芳賀　康三 一級建築士 登録第88273号	設計者 林　弘直 二級建築士 登録第27636号	担当者 林　弘直 二級建築士 登録第27636号	図面名	図面No.
あらぐさ福祉会様 第３クローバーハウス新築工事設計図					木造特記仕様書(5)	K-5
備考	HOMEPAGE：WWW.HAGAKEN.COM　EMAIL：info@hagaken.com TEL 048-722-6081　FAX 048-722-6082	日付 2020.02.22	日付 2020.02.22	日付 2020.02.22	縮尺　NO SCALE	